



天津っ子

~Amatsu with your smile~



真庭市立天津小学校

すすんで学ぶ子 ~主体的に学びを深める~

天津小学校では、子どもたちが、主体的に課題を追究し、考えや思いを伝え合い、学びを深める力を持つてほしいと考えています。特に、今年度は、「主体的」と「学びを深める」を大事にしています。子どもたちがやりたいと思って課題に向かったり、一段階掘り下げて考えて学びを深めたりできるよう工夫をしながら授業づくりを行っています。その中でも、国語の物語文については、外部講師を招聘して研究も進めています。2学期の各学年の子どもたちの様子を見ると、「今日の学習で何を重点的に読んでいくか」の問いを立てたり、ワークシートに自分の読み取ったことをどんどん書き込んだり、意欲的に取り組んでいる姿が見えてきています。また、友達と意見を交流したり、友達の発言から学んだりしている様子も見えています。毎日の授業を通して、力をつけていっているように感じています。今後も、引き続き子どもたちの学びが深まっていくよう努めていきたいと思います。



★物語文に関する児童アンケートの結果です。肯定的な回答をした児童が、どの項目も増えてきています。

- ①「課題についてすすんで考えることができましたか」 96.5% (7月) → 99.2% (12月)
- ②「友達と考えや思いを伝え合うことができていますか。」 96% (7月) → 96.7% (12月)
- ③「授業の中で分かったことや、新しい発見(なるほどと思ったこと)がありましたか」
94.9% (7月) → 95.3% (12月)

SDGs出前授業(1・2年)

12月12日(金)に、NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクトの方がお二人来てください、SDGsの出前授業をしてくださいました。初めに、ウクライナのことや、そこで多くの方の手助けをされている方のお話をしてくださいました。その後、「ありがとう」の言葉のもつ温かさについて考え、ありがとうのメッセージカードを書きました。そして、SDGsツリーに飾る手形のオーナメントを作りました。誰かのために行う優しい行動で、たくさんの「ありがとう」が広がり、誰も取り残さない世界を目指すSDGsにもつながっていくことをしっかり感じた1・2年生です。あぐりガーデンに子どもたちのオーナメントを飾ってくださいます。ぜひ、見に行ってみてください。



お金についての授業(5年)

5年生の家庭科の学習に、「生活を支える物やお金」という単元があり、物や金銭の大切さと計画的な使い方等について学ぶようになっています。その学習の一環として12月12日(金)にJAの方に来ていただき「お金のキホン」についてお話をしてくださいました。お金の条件や機能、お金の流れ、お金の大切さや使い方等を学びました。学習の後半では、「5000円のゲームが欲しいけれど、1500円しか持っていない時、どうするか?」という問いに、①あきらめるか②ためて買うか③お小遣いを前借りするか等、一人ひとりが自分事としてしっかり考えたり、友達の考えを聴いたりしていました。お金を使う前に、しっかり考えること、必要なもの欲しいものを分けて考えること等、多くのことを学びました。



表彰紹介

○ 令和7年度「明るい家庭づくり」作文真庭審査

(佳作) 3年 牧 風花 3年 難波 梨乃愛 4年 家元 遥
6年 黒田 幸桜